

2012新年のあいさつ

糸島市長

まつもと みねお
松本 嶺男



新年あけましておめでとうございます。

みなさまには、健やかで輝かしい新春をお迎えのこと、心からお慶び申し上げます。

さて、昨年3月11日に東日本大震災が発生しました。大地震、大津波、そして原発事故と、わが国がかつて経験したことのないほどの大災害となりましたが、一方で私たちは、人と人との繋がりが、いわゆる地域の絆のたいせつさを、あらためて認識しました。

被災地支援につきましては、市民のみなさまから多くの義援金をいただき、1億円超

を被災地にお届けすることができました。みなさまの温かいお気持ちに、心から感謝いたしております。

大災害を受け、本市としましては、地域防災計画の見直しをはじめ、自主防災組織の設立、安全協定の申し入れなど、危機管理体制の充実・強化に取り組んでいるところです。市民のみなさまにおかれましては、向こう三軒両隣の精神で、地域の絆を深めていただきたいと思います。

また昨年は、豊かな自然や新鮮な農水産物、多様な工芸品、人情あふれる人々など、

糸島の魅力が雑誌やテレビなどで数多く紹介され、糸島への注目が高まっています。この注目を一過性のものにしなために、郷土を愛する人々「愛郷者」のみなさまと一緒に、糸島の魅力を磨き上げていく必要があります。

本年は、糸島市のイメージキャラクターのモチーフである「竜」の年です。竜が空高く舞い昇るように、糸島の魅力を高め、「糸島ブランド」として、世界に羽ばたいていきたいと思います。

新年あけましておめでとうございます。

市民のみなさまにおかれましては、恙なく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日ごろから糸島市の発展のためにご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

平成24年の年頭に当たり、糸島市議会を代表しまして、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

昨年は、東北地方の大地震に起因する未曾有の津波や

原発事故の発生により、まさに国難の年となりました。その中で、市民のみなさまが、それぞれのかたちで被災地のご支援をされる姿に、人と人が繋がる力と温かさを感

じた次第でございます。そうしたみなさまの支えにより、糸島市は誕生の日から3度目の新春を迎えることができました。その間、月日の経過とともに魅力・活力があふれるまちへと輝かしい発展を続けております。

市議会といたしましても、

行財政改革への取り組みとして、議員定数の調査を目的とした特別委員会を設置し、定数削減を決定するなど、議会改革を推進しているところであり、本年も市議会議員にかかる責任の重さを十分認識して、市民のみなさまのご期待に応えられるよう、新しい年を迎えて決意を新たにします。

結びに、本年がみなさまにとりまして幸多き年となりますよう祈念いたしまして、新年のごあいさついたします。

糸島市議会議長

あり た つぐ お
有田 継雄

